

市長（作野広昭君）

これまでのビジョンといたしましては、合併時における個々の地域が集まって、おのおの地域のよさを集めた形のビジョンであったと思います。

いよいよ合併9年を迎え、ことし10年目ということでもあります。本当の一体化した白山市としてどうしていけばいいのかという、次に白山市としての大きなビジョンに移ってくるのは当然だと思っております。

そんな中で、各自治体でできなかった問題、例えば新幹線をとめようとか、白山駅をつくろうとか、こういうものは旧の自治体であったら、これは絶対にそういう発言自体、発想自体出てこなかったものであろうと私は思いますし、きのうも言いましたように、スーパー林道の料金引き下げ、その事前に至る白川村と観光協定を結び、岐阜県知事のところに行ってお願いをしてくるとか、こういうことは旧の自治体ではできなかったものと私は思います。

ただし、大きな白山市としてのスケールメリットを生かしたこういうものを、これからいろいろと取り組んでまいりたいと思っています。